

令和6年度養護教諭5年経験者研修実施計画

1 目的

養護教諭としての経験を基に、専門的・実践的な研修を行い、児童生徒の心身の健康・安全に関する様々な課題に対応するために必要な指導力と実践力の向上を図る。

2 主催

宮城県教育委員会

3 対象

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に在籍し、教職経験5年経過6年目の養護教諭（以下「研修教員」という）とする。 ※過年度未研修教員を含む。

【留意事項】

- (1) 県外及び私立の学校の養護教諭経験年数は当該在職期間に通算する。
- (2) 臨時的に任用された期間は、当該在職期間に通算しない。
- (3) 在職期間のうち、次に掲げる期間が引き続き1年以上ある場合は、その期間の年数（1年未満の端数があるときは、これを切り捨てた年数）を当該在職期間から除算する。
 - ① 休職又は停職により現実に職務を執ることを要しない期間
 - ② 育児休業をした期間
 - ③ 配偶者同行休業等をした期間
 - ④ 職員団体の役員として専ら従事した期間
- (4) 次の者は対象者から除く。
 - ① 臨時的に任用された者
 - ② 他の任命権者が実施する当該研修に相当する研修を受けた者

4 内容

- (1) 校外研修(3日)

- ① 研修日程と内容・会場について

5月22日(水) 会場： 総合教育センター	専門研修1 講義・演習 実習	【養教新採研・5年研・中堅研合同】 学校における危機管理 救急処置
	10月25日(金) 会場： 総合教育センター	専門研修2 講義・演習 講義・演習 講義・演習
12月4日(水) 会場： 総合教育センター	専門研修3 実践発表 講話	【養教新採研・5年研・中堅研合同】 児童生徒の健康課題を解決するための実践研究 これからの養護教諭に求められるもの
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	3日目の事前	保健教育と学習指導案について

② 受講に係る留意事項

- ア 校外研修の受講に関する申込手続は、Mナビオンライン「受講管理システム」から、指定された期日までに、研修教員が確実にを行うこと。
- イ 校外研修については、各研修教員がMナビオンライン「受講管理システム」の「研修会情報」を確認し、研修に向けた準備を行うこと。
- ウ 欠席について
- ・ 市町村立学校
所管の教育委員会に相談の上、やむを得ない理由で欠席する場合は、教頭等が研修担当に電話連絡を行う。その後、速やかに所定のルートで「欠席届」（センター様式第1号）を提出する。
 - ・ 県立学校
教頭等が研修担当に電話連絡を行い、やむを得ない理由で欠席する場合は、速やかに「欠席届」（センター様式第1号）を提出する。
- エ 欠席した研修の補充等については、欠席事由や研修内容などが一つ一つ異なることから、研修担当から直接指示を受ける。
- オ 「延期願」（センター様式第2号）は、年度ごとに許可されるため、原則として年度始め4月の早い段階に提出する。前年度に引き続き延期する場合も、毎年4月に提出する。

(2) 校内研修（学校ごとの計画による）

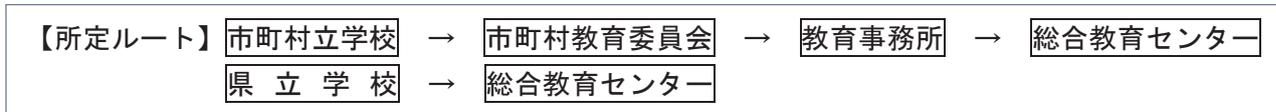
学校の実情に応じて工夫し、校長、副校長、教頭、主幹教諭及び教諭（教務主任、保健主事）等の指導・助言の下、年度当初に計画を作成する。その際、あらかじめ学校の年間計画や月計画に組み入れるなど、確実に実施できる措置を講ずる。校内研修の日数については、各自の実践研究の内容によるため特に定めない。

研修内容は、保健教育に関する授業実践を通じた研修及び児童生徒の健康課題の解決を図る研究を行う。

なお、**校外研修（専門研修3）**で実施する実践発表は、「児童生徒の健康課題を解決するための実践研究」とし、校内において実践したものとする。

5 関係様式

校長は、校内研修報告書等を作成し、所定ルートで提出する。なお、下に示した提出期限は総合教育センターの期限であり、市町村立学校は市町村教育委員会が定める提出期限日を確認の上、提出する。



■養護教諭5年経験者研修に係る作成文書一覧

様式	文書名	原本保管先		提出期限
		市町村立学校	県立学校	
様式1	校内研修報告書	総合教育センター	総合教育センター	令和7年2月28日(金)

■その他様式

文書名		提出期限
センター様式第1号	欠席届	電話連絡後速やかに提出。
センター様式第2号	期日変更・延期願 ※延期者がいる場合のみ	年度始め4月の早い段階で提出。

※上記様式は総合教育センターのホームページからダウンロードし、活用すること。

※総合教育センターへの提出は「総合教育センター所長（教職研修班扱い）」とする。



【様式ダウンロード】

※経由欄は県立学校の場合不要

教育事務所経由印欄

教育委員会経由印欄

養護教諭5年経験者研修
校内研修報告書

学校名	〇〇〇市立〇〇〇学校	職 氏名	養護教諭	〇〇 〇〇
研修内容の概要				
<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: yellow; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>校内研修の研究内容を分かりやすくまとめて記入してください。</p> </div>				
研修成果と今後の課題				
<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: yellow; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>養護教諭としての自分自身のこれからの展望を含めて、校内研修について、どんな学びがあったのかを具体的に記入してください。</p> </div>				
<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: yellow; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>「学校名」「氏名」は表の学校名・氏名を記入していると自動入力されます。</p> </div>				

令和 7 年 月 日

学校名 〇〇〇市立〇〇〇学校 研修教員 職・氏名 養護教諭 〇〇 〇〇 の

養護教諭5年経験者研修 校内研修報告書を、上記のとおり提出します。

令和 7 年 〇 月 〇 日

〇〇〇市立〇〇〇学校 校長 〇〇 〇〇〇 (公印省略)

(別紙様式)

養護教諭5年経験者研修 実践研究発表資料

(1行空ける)

「 テーマ 」

～ サブテーマ ～

(1行空ける)

学校名 ○○市立○○学校

養護教諭 ○○ ○○

(1行空ける)

1 はじめに

学校や児童生徒の実態及び健康課題を挙げ、課題解決に向けた手立ての概要及び目標を示す。

本校の児童生徒の健康課題に基づいて研究テーマを設定する。養護教諭としての自らの課題(保健管理(救急処置、健康診断、疾病予防など)、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動)と学校の課題を関連付け、その解決に取り組む。

例)・栄養教諭との食育教育の連携・保健室経営と情報発信
・健康相談と保健組織活動・防災教育と児童生徒の心のケア
・保健室経営計画を活用した健康課題への取組
・多様な教科との連携による保健教育の推進と児童生徒の変容

2 実践研究発表の内容

左右の余白は20mm程度とること。

目標を達成するために実践した具体的手立てについて示す。その際、ねらい及び評価についても明示すること。

※実践に当たっては、教職員に周知を図り、年間を通じた計画的・組織的な取組となるように留意すること。

※評価は、その観点(計画どおりに実行できたか、ねらいの達成度等)、方法・時期等をあらかじめ定めて実施すること。また、自己評価と合わせて、教職員、児童生徒、保護者等による他者評価の視点も取り入れること。

3 成果と課題

実践から得られた結果及び評価を基に考察し、目標に対する達成の状況を明らかにした上で、成果と今後取り組むべき課題をまとめる。その際、個々の手立てについて、ねらいに対して有効であったか、課題がどの程度解決したかを示すこと。また、実践全体を通じた目標の達成度を示すこと。

考察や分析の根拠を示す際は、数値で表す等の方法で明示するように留意すること。

【資料の取扱等について】

- (1) 発表資料の作成に当たっては、校長等の指導を受けること。
- (2) 著作権や個人情報等の保護に留意すること。

(実践研究発表資料の提出について)

宛て先 : 宮城県総合教育センター教職研修班
(養護教諭研修担当者扱い) 宛て
E-mail : teaching-p@edu-c.pref.miyagi.jp
提出期限 : 令和6年11月5日(火)